

## 事務局だより

会議報告 平成25年4月1日より9月30日まで

### ◆第8回理事会

月日…平成25年6月4日  
 場所…主たる事務所  
 出席…理事・監事  
 決議事項…

- ① 自平成24年4月1日至平成25年3月31日  
事業報告の件
  - ② 自平成24年4月1日至平成25年3月31日  
決算の件
  - ③ 定時評議員会招集の件
  - ④ 顧問選任の件
- 報告事項…
- ① 理事退任の報告
  - ② 評議員退任の報告
  - ③ 理事長および専務理事の職務執行の報告
  - ④ 会員数の報告

### ◆第5回評議員会

月日…平成25年6月13日  
 場所…主たる事務所  
 出席…評議員

- 報告事項…
- ① 評議員退任の報告
  - ② 自平成24年4月1日至平成25年3月31日  
事業報告の件
  - 決議事項…
  - ① 自平成24年4月1日至平成25年3月31日  
決算の件
  - ② 評議員の選任の件
  - ③ 理事および監事の選任の件

### ●関東本部役員会

月日…平成25年7月12日  
 場所…丸の内ホテル(東京)  
 出席…関東本部役員  
 報告事項…

① 募金活動の進捗状況の件

### ●東海本部役員会

月日…平成25年7月31日  
 場所…名鉄グランドホテル(名古屋)  
 出席…東海本部・京都本部役員  
 報告事項…

- ① 糺の森環境整備・景観保全と文化財修理  
事業に係る東海募金進捗の件
- ② 糺の森環境整備・景観保全と文化財修理  
事業に係る各地区募金の進捗の件

### 会員数報告 (平成25年9月15日現在)

|         |        |
|---------|--------|
| 賛助会員    | 52件    |
| 団体・法人会員 | 32件    |
| 個人会員    | 1,158名 |
| 合計      | 1,242件 |

### 新役員紹介

6月の理事会・評議員会にて、財団の新役員が選任されました。任期は、理事2年、監事・評議員・顧問は4年です。名簿は財団ホームページに掲載しておりますので、ご覧ください。

[www.eonet.ne.jp/~tadasunomori-z](http://www.eonet.ne.jp/~tadasunomori-z)

### 新入会員ご誘致のお願い

多くの方に世界遺産糺の森の保存にご理解ご協力をいただきたく願っております。新入会員のご誘致をよろしくお願いいたします。

ご連絡いただければ「入会案内パンフレット」をお届けいたします。

### ご寄付のお願い

平成24年度も多くの皆様をいただき、糺の森の整備・神社建造物の修復を実施することができました。ありがとうございました。平成25年度も引き続きましてご寄付をよろしくお願いいたします。同封の振込用紙をご利用ください。

## 下鴨神社だより

### 行事日程

#### ●平成25年下半年行事

10月9日 えと祈願祭(午後1時～)

12月12日 お菜酒神事(午後1時半～)

#### ●平成26年上半年行事

1月1日 歳旦祭 (午前6時～)

1月4日 蹴鞠初め (午後1時半～)

1月11日 初えと祭 (午前11時～)

1月12日 成人祭 (午後1時半～)

2月3日 節分祭 (午前10時～)

3月3日 雛流し (午前10時半～)

### 第34回式年遷宮諸祭事日程

#### ●平成27年

4月27日 正遷宮

4月28日 奉幣祭

糺の森ぐらりぐらり第7回

史跡の保護と世界文化遺産

糺の森NEWS／催事案内

表紙写真／水野克比古

糺の森

題字

賀茂御祖神社

新木直人宮司

編集・発行

公益財団法人

世界遺産賀茂御祖神社境内糺の森保存会事務局

〒606-0807 京都市左京区下鴨泉川町59 賀茂御祖神社内 ☎075-781-0010

[www.eonet.ne.jp/~tadasunomori-z](http://www.eonet.ne.jp/~tadasunomori-z)

糺の森財団

関東本部長 宮原 賢次  
(住友商事株式会社 名誉顧問)



悠久二千年の古から京都にお祀りされている下鴨神社。その神域の森「糺の森」は、人々の暮らしが目まぐるしく変化する世の中においても、古代山城原野の植生を残しており、国宝本殿をはじめ重要文化財の社殿は平安絵巻さながらの姿を今に伝えています。また、平成6年には自然環境の希少性、歴史的価値が認められて、ユネスコの世界文化遺産に登録されました。この生きた文化遺産の糺の森には、国の内外を問わず毎年多くの方々を訪れて、自然に癒され、歴史を肌で感じていらっしゃる。

90年代以降、日本企業の運営や経営において、グローバル化が加速するなか、大きな変化が起きました。そこで求められたのは対外的な透明性です。各企業においては、その活動に対する説明責任が強く求められています。同様に当財団の活動である、糺の森の環境を保全し、次代に継承する取組は、広範囲にわたる継続的な普及広報活動を通じて、説明責任を果たし、透明性の高いものになっています。

当財団は、京都はもとより、関東、東海、関西地区に本部を置き、公益事業を行う、公益財団法人として活動を展開しております。市民の皆様にご参加いただける植樹祭をはじめ、数々の事業に多くの会員や関係各位の皆様のご支援、ご協力をいただいております。しかし、日本が世界に誇る、このかけがえのない文化遺産の存在価値の普及には更なる努力が求められます。

糺の森財団は、たとえ永い時間がかかろうとも、この糺の森の保存活動に全力を尽くす所存です。この会報をお読みの、お一人お一人に、糺の森を守る活動の輪を広げるため、お力添えを賜りたくお願いを申し上げる次第です。

# 史跡の保護と 世界文化遺産

京都市文化市民局文化財保護課技師  
堀 大輔

賀茂御祖神社は、皆様ご存知のとおり、世界文化遺産「古都京都の文化財」を構成する十七社寺城の一つです。今年には富士山の世界文化遺産登録が巷間を賑わせましたが、世界遺産が制度上どのように守られているのかについては、意外によく知られていないようです。

世界遺産を担当してよくあるご質問の一つに、世界遺産に登録されると、ユネスコから保全のための資金援助があるのか、また一方で厳しい規制も課せられるのか、というものがあります。実はどちらもないんですよ、とお答えすると大抵の方が驚かれます。

世界遺産は、登録されてからユネスコの手厚い保護を受けるという仕

組みではありません。それぞれの国内できちんと保護されているものを、世界全体にとっても価値あるものと宣言し、異文化を理解するための礎とする制度です。したがって、世界的視野において顕著な価値を有することとともに、自国の国内法で敷地全体がきちんと保護されていることが推薦の条件になっています。敷地は不動産ですから、文化遺産の場合、通常それを保証するのは文化財保護法に基づく史跡指定です。

賀茂御祖神社境内は昭和五十八年に史跡指定を受けていますので、この点はクリアしていました。その上で、国宝の東西両本殿を含め、京都の歴史と文化を語る上でなくてはならないということで「古都京都の文化

糺の森  
ぶらりぶらり  
第六回





### 国宝本殿の修理 いよいよ始まる

#### 助成事業

平成21年度より実施している「重要文化財賀茂御祖神社預り屋ほか21棟保存修理事業」の平成25年度国庫補助事業として、国宝本殿2棟の修理工事が始まりました。

#### 国宝 東本殿・西本殿 修理事業

去る、3月20日に仮遷宮が行われ、神様は本殿北側に建てられた仮殿に遷座されています。祭後の6月12日には、修理を行う旨を神様に奉告した後、お祓いの神事が斎行されました。そしてこの日より、屋根の葺き替え等を行うための足場である、素屋根の建設が始まりました。工事は7月に完了し、現在は東西本殿すべてを覆う大きな素屋根がそびえています。

現在の本殿は文久3

# 糺の森 NEWS

発行所 公益財団法人  
世界遺産賀茂御祖神社境内  
糺の森保存会事務局  
www.eonet.ne.jp/~tadasunomori-z



年(1863)に造替されたもので、幾度の修理を経て現在に至ります。神社の本殿には様々な建築様式がありますが、その6割以上が当社と同じ、前面の屋根が長く造られている「流造り」です。下鴨神社の本殿は、数ある流造り建築の中でも、古くからの姿を伝える代表的建造物とされ、建築学的に重要な建物であることから国宝の指定を受けています。今回の事業では、檜皮屋根の葺き替え、

飾り金具の補修、階段・高欄の朱漆の塗り替え、傷んだ木部の修理、土台である亀腹の漆喰塗り等、建物の隅々に至るまで大修理を実施します。また、殿内神宝等の調度品をはじめ、獅子狛犬等の美術工芸品の補修を合わせて行います。

本事業は2カ年度事業として実施し、平成27年3月の完了を予定しています。工事の進捗状況につきましては、次号より順次ご報告いたします。



財」の構成資産となつたわけです。では史跡とは何か、という質問もよく頂きます。一般的な意味では「歴史的な施設、または歴史的出来事のあった場所」ということですが、文化財の世界では、それを文化財保護法に基づき国が指定したものを言い、建造物や美術品で言う重要文化財に相当します。土地、建物はもちろん、それらが織りなす歴史的空間(境内景観)や地下遺構までを総体的に保護しようとするものです。

賀茂御祖神社におけるその取り組みの一つとして、現在進行中の摂社河合神社の透塀修理を、国庫補助事業としてお手伝いさせていただいています。建造物としては未指定ですが、「鴨社古図」にも描かれており、史跡たる境内の重要な構成要素であると考えられるためです。修理にあたっては、新材への取り替えを最低限にし、古い様式や工法を最大限守って進めていただいています。

二十年前、世界遺産は欧米の石造文化が中心で、木造建築は部材が更新されているから「本物」ではないという考え方が支配的でした。これに対し、一部の材は新しくとも、文化遺産としての価値は小さくも減じていないことを証明したものの一つが「古都京都の文化財」であり、それを支えていたのが、このような地道な作業の積み重ねでした。

その結果、今の世界遺産審査では、木や土の文化も、伝統を重んじ慎重に継承されたものならば「本物」と考えるのが当たり前となりました。

「古都京都の文化財」は、来年登録二十周年を迎えます。



# 世界遺産糺の森文化講演会 開催

平成25年8月10日(土)に下鴨神社参集殿において、伝統工芸士・京時絵師である下祐太郎氏を講師にお迎えし開催致しました。「日本美を支える感性」と題し、ご自身の著書の朗読から始まり、作品や道具類の実物を披露。詩人であり、京都工芸繊維大学の特任教授である講師は、ユーモアを交えながら解りやすく講演をいただきました。

講演は以下のような内容でした。  
文化遺産としての漆技術の歴史は、その技術、材料の特異性から人々の英知と苦心の業績である。  
漆の特殊な性質により時絵は日本にしか存在せず、日本独特の文化として、伝統工芸のもつ智慧として数百年続く生産システムを築いてきた。日本人が培ってきた美を支える感性とは、習い、鍛え、研ぎ澄ませて獲得していく感性であり、一朝一夕に身に着くものではない。私たちの先達は、悠久の時間の流れの中で自分の生をとらえ、出上がったものもとより、作り方や智慧を大切に考え未来に伝承して行く方法を大事にしてきた。その一つとして式年遷宮という形が残されている。



# 「世界遺産 京都下鴨神社展」名古屋で開催 水木しげるが描く『方丈記』

名古屋での第5回目となる展覧会を、7月31日から8月5日まで名古屋駅前の名鉄百貨店本店10階で開催いたしました。今年は、昨年8000年記念を迎えた鴨長明の『方丈記』をテーマに、下鴨神社所蔵のゆかりの品々や資料と漫画家水木しげる氏が手がけた『方丈記』の画や資料を展覧いたしました。期間中約3,000名の来場者があり、下鴨神社の魅力に接していただきました。



# 春の糺の森コンサート「音の森」開催 幅広いジャンルの音楽を楽しむ

4月は和奏ユニット「運風RENPU」、和太鼓・津軽三味線・篠笛の迫力ある演奏。5月はおなじみになった「ドレクスキップ」を迎え北欧音楽のコンサート。6月は京都市立芸術大学の学生による「金管五重奏」、トランペット・ホルン、トロンボーン、チューバが森に響きました。秋のコンサートも是非ご期待ください。



# 第23回 螢火の茶会と 糺の森納涼市

## 今年は螢を森の中に放流。 散策路からゆつくり鑑賞。

恒例の「螢火の茶会」を今年も6月8日(土)に開催。お茶席には財団会員などの招待客約850名の方が参席されました。当日の観光客は約4,000名が訪れ、境内での箏曲の演奏や雅楽舞、そして螢の舞いを楽しめました。今年には約400匹の螢を糺の森の東側の森の中に夕暮れ時に放流。新しく散策路を設け、9時頃までゆつくりと鑑賞していただきました。

同時に楼門前表参道にて開催された「糺の森納涼市」は、京の有名老舗など18店の出店があり、多くの買い物客で賑わいました。

今年も多くの皆様にご奉仕ご協力をいただきました。感謝申し上げます。

- 〈お茶席・点心席奉納〉  
裏千家前家元 千玄室様
- 〈お茶席奉仕〉  
淡交会京都東支部様
- 〈点心席奉仕〉  
本家尾張屋様
- 〈箏曲奉仕〉  
錦綾子社中様
- 〈十二単衣の着付と王朝舞〉  
下鴨古楽会様
- 〈ご協力〉(敬称略・五十音順)  
●岸野電気 ●松風園 ●榎鈴木建設  
●西村管工 ●旬林屋電気商会  
●(株)藤田造園  
●(株)ワコールホールディングス

# 第23回 糺の森市民植樹祭

## 大きく育つことを願って、 約400名の方が 苗木を植樹。

4月29日(月)の昭和の日に「糺の森市民植樹祭」を開催。多くの市民が親子で参加し、糺の森後継樹のムク・エノキ・カツラ・ケヤキ・モミジの樹齢2〜3年の苗木500本を植樹いたしました。また成木の献木は28本(モミジ8本・ケヤキ8本・カツラ7本・ムク5本)をいいただき、平成3年の第1回から累計270本を超えました。

式典では千理事長様、新木宮司様からご挨拶、山田京都府知事様からご祝辞、また近畿大学田端講師様から植樹のレクチャーをいただきましたこと、お礼申し上げます。

藤田造園様・浜田造園様より苗木500本をご寄贈いただき、また林屋電気商会様・藤田造園様には設営等にご支援ご協力をいただきました。感謝申し上げます。

- 〈成木献木者〉(五十音順)  
(株)伊藤園様 上野勝代様(3本) 岡 博章様  
尾形文字様 岡本登子様  
鴨川 得様 京都大学病院医療情報企画部様  
佐々木隆晴様(2本) 佐野 敦様  
千 玄室様 高崎秀夫様(2本) 手島友一郎様  
中谷永達様 中野香智子様 永安洋二郎様  
濱崎勇三様 足田正博様 前田俊之様  
松永善次様 水野宗志様 山口重子様(2本)



# 催事案内

遊び、学ぶ、  
糺の森のつどいあれこれ

## “秋の”糺の森コンサート 「音の森」

日時：10月12日(土)  
11月9日(土)  
時間：午後2時~3時(予定)  
場所：10月 研修道場  
11月 河合神社

参加：無料(自由)

爽やかな季節と音楽を楽しむ“秋の”コンサート。10月はアイリッシュフルートとハーブの調べ。ご家族やお友達と気軽にどうぞ。



## 世界遺産 糺の森文化講演会 平成25年秋講座

月日：12月8日(日)  
場所：下鴨神社  
参加：無料

※「けまり」についての公演を予定しています。決定次第、ホームページやチラシ等でご案内いたします。もう少しお待ちください。



詳細はホームページをご覧ください。

- 糺の森財団 [www.eonet.ne.jp/~tadasunomori-z](http://www.eonet.ne.jp/~tadasunomori-z)
- 下鴨神社 [www.shimogamo-jinja.or.jp](http://www.shimogamo-jinja.or.jp)